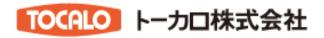
日経IR・個人投資家フェア2024

ミニ会社説明会



(東証プライム 3433)

2024年8月23日 · 24日







本日の内容

- 1. 事業概要
- 2. 特長と強み
- 3.持続的成長に向けた取り組み
- 4. 株主還元
- 5. サステナビリティ





(東証プライム 3433)

TOCALO



トーカロ株式会社

事業内容:溶射を中心とした表面改質加工

本 社:兵庫県神戸市

設 立:1951年7月

資本金:26億5,882万3千円

売上高:連結 467億35百万円(2024年3月期)

従業員数:連結 **1,389**名(2024年3月末現在)



代表取締役 社長執行役員 小林 和也

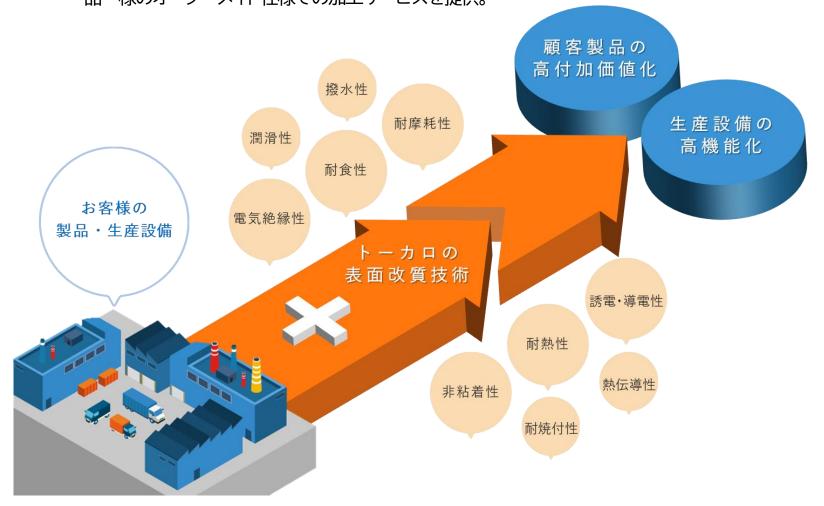


当社の表面改質技術



POINT

当社は厚膜から薄膜までの多種多様な表面改質技術を保有しており、顧客の様々な製品・生産設備に対して一品一様のオーダーメイド仕様での加工サービスを提供。



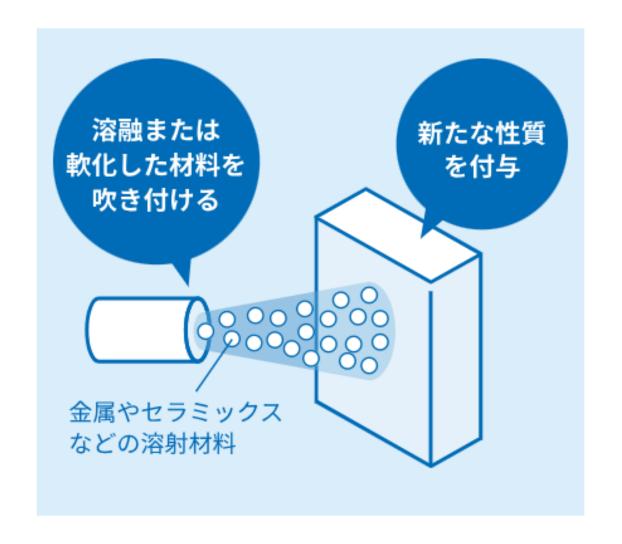


溶射とは





溶射とは、溶射材料を溶かして吹き付け、皮膜を形成するコーティング方法。



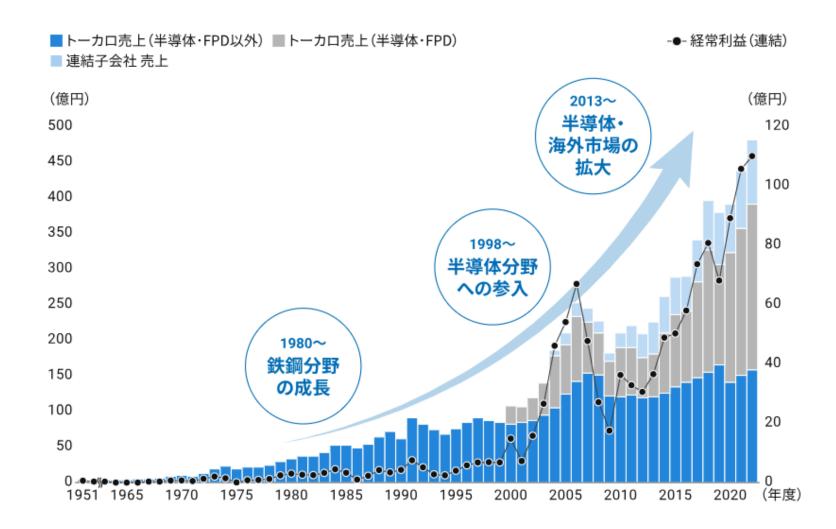




業績の推移 (1951年度~)



創業以来赤字はなし、リーマンショックなど厳しい経済環境の中でも安定的に成長



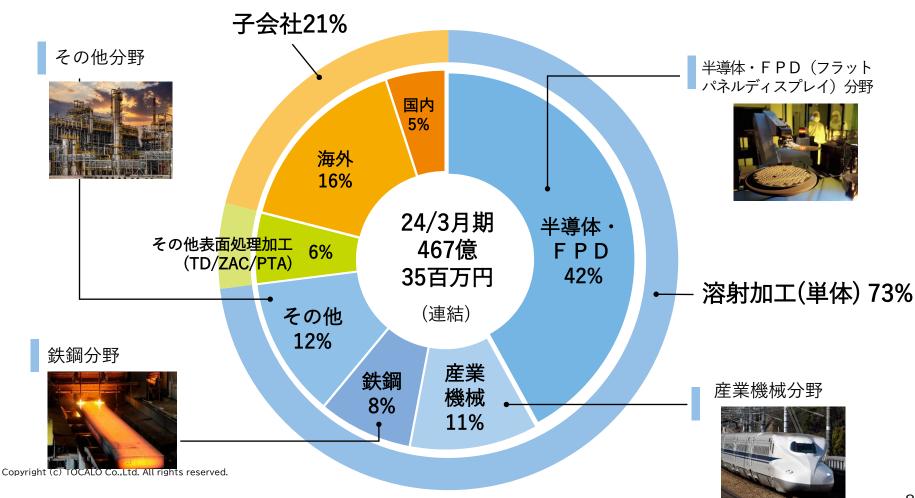


さまざまな産業界に拡がる事業領域





半導体・FPD製造装置関連が約42%をしめていますが、その他にも、産業機械分野や 鉄鋼分野などの幅広い業界で、事業を展開しています。





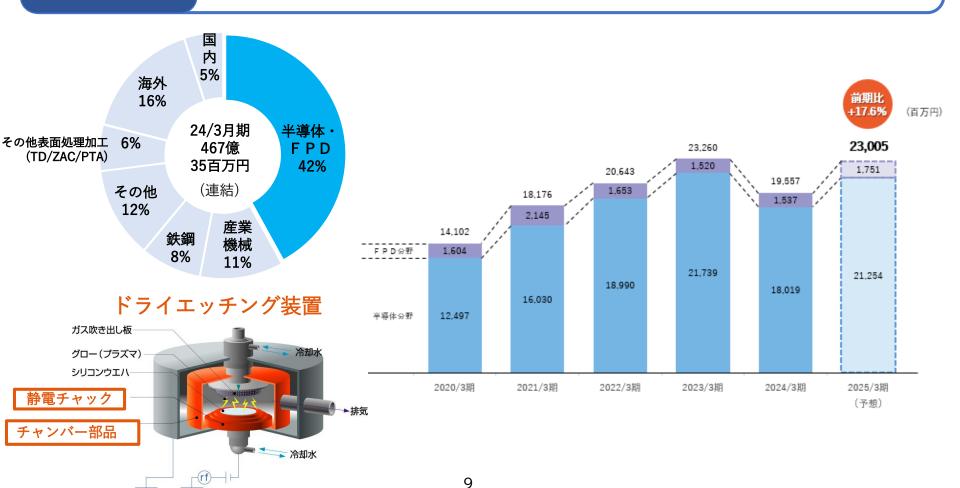
事業内容① (半導体·FPD分野)



主な取扱い 事例

半導体製造装置

- ①プラズマエッチング処理装置のゴミ発生防止と耐久性アップを目的とした表面処理
- ②半導体ウエハや液晶ガラス基板を真空中で固定するための静電チャック





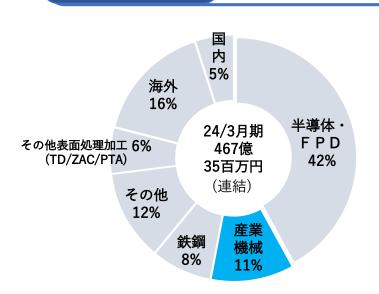


事業内容②(産業機械分野)

耐熱性

主な取扱い 事例

- ガスタービン部材 NAS電池 電気絶縁ベアリング
- 発電用ボイラーパネル 電極材製造装置部品など



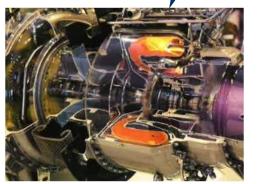
電機絶縁ベアリング



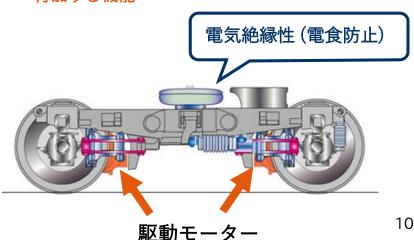


ガスタービン





付加する機能



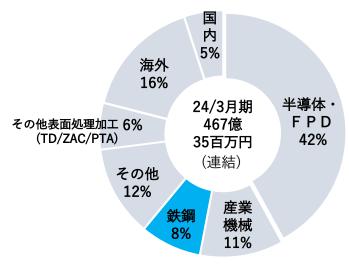




事業内容③(鉄鋼分野)

主な取扱い 事例

■ 炉内ロール、亜鉛浴中ロール など ○耐ビルドアップ(堆積物) ○耐熱 ○耐摩耗 ○耐食



ハースロール(炉内ロール)





付加する機能

耐熱、耐ビルドアップ、 耐食、耐摩耗など



シンクロール(浴中ロール)

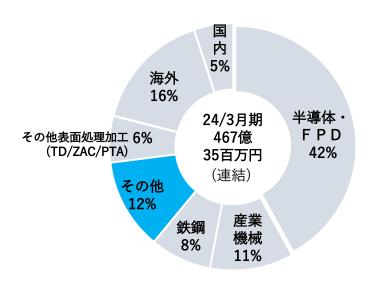




事業内容④ (その他の分野)

主な取扱い事例

- 石油精製・化学プラント関連 ■風力・水力発電設備部品
- 製紙ロール ガラス搬送ロール 航空機エンジン部材 など



石油精製



付加する機能

耐熱、耐食、耐摩耗など

航空機部品

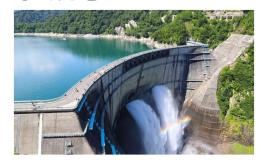


製紙(ヤンキードライヤーロール)





水力発電



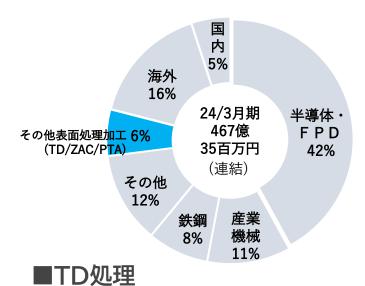




事業内容⑤(その他表面処理)

主な取扱い 事例

- TD処理
- ZAC処理
- 〇 農機
- つ 医療
- 半導体製造装置向けガス配管など



付加する機能

生体への親和性向上

付加する機能

耐摩耗性



■ZAC処理

医療関連



半導体製造装置部品







国内子会社

主な取扱い事例

自動車関連向け切削工具 など

■日本コーティングセンター株式会社

設立年月:1985年4月

本社:神奈川県 出資比率:100%

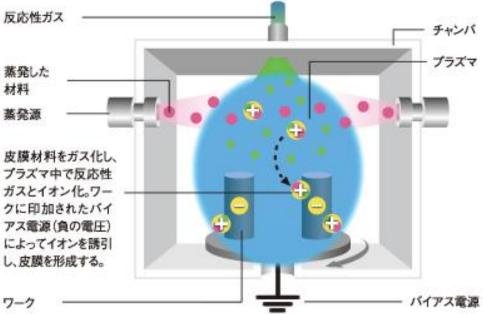


内 5% 海外 16% 半導体· 24/3月期 FPD その他表面処理加工 467億 6% (TD/ZAC/PTA) 42% 35百万円 (連結) その他 12% 産業 鉄鋼 機械 8% 11%

自動車関連向け切削工具



PVD処理





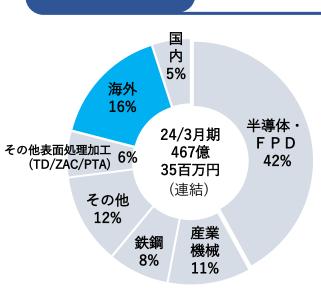
海外子会社



主な取扱い 事例

- 鉄鋼関連:東華隆(広州)表面改質技術有限公司
- 半導体関連:東賀隆(昆山)電子有限公司、 TOCALO,USA,Inc.

漢泰国際電子股份有限公司



東華隆(広州)表面改質 技術有限公司

設立年月:2005年4月 本社:中国 広東省 出資比率:70%

主な事業分野:溶射(鉄鋼他)

TOCALO USA, Inc.

設立年月:2015年11月 本社:米国 CA州 出資比率:100% 主な事業分野:溶射(半導体他)



東賀隆(昆山)電子 有限公司

設立年月:2011年5月 本社:中国 江蘇省 出資比率:90% 主な事業分野:溶射(半導体・FPD)



漢泰国際電子股份 有限公司

設立年月:2011年6月 本社:台湾 台南市 出資比率:50% 主な事業分野:溶射(半導体・FPD)



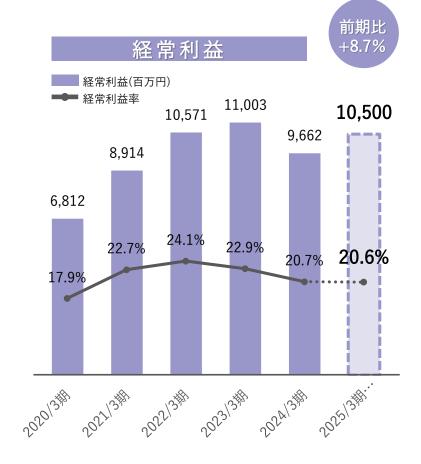




売上高と経常利益の見通し



人件費増加を含む製造原価上昇により、 POIN 経常利益率は横ばいの見通し









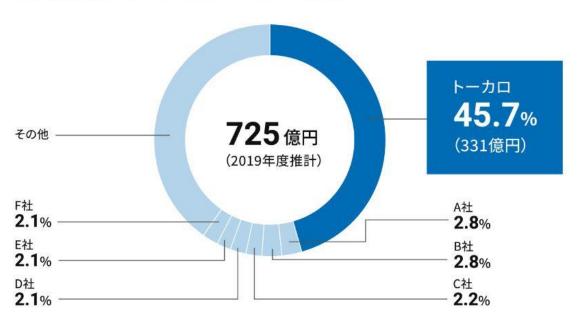




受託加工サービスの国内溶射市場は約700億円。

トーカロは4割強のシェアを占めています。

国内溶射市場(ジョブショップ市場)



出所「溶射業界における市場調査及び将来市場展望報告書」

発行所:株式会社矢野経済研究所 監修:日本溶射工業会、一般社団法人日本溶射学会

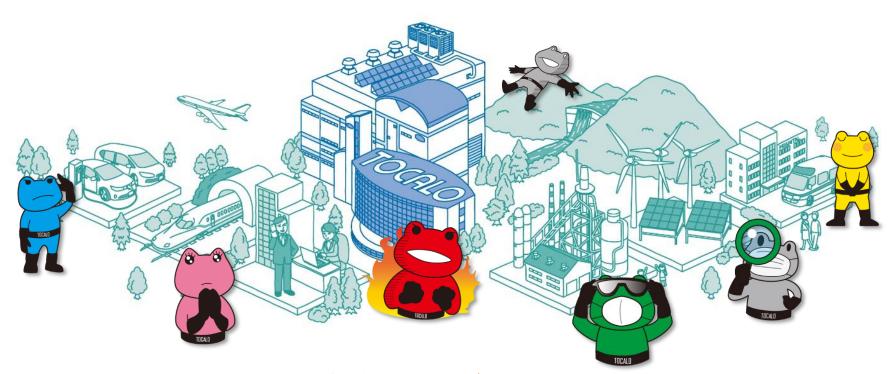


② 現場密着





セールスエンジニア約100名が、お客様の製造現場に密着し、 当社技術で解決できる課題を見つけて提案します。



お客様が気付いていない潜在的なニーズさえも!

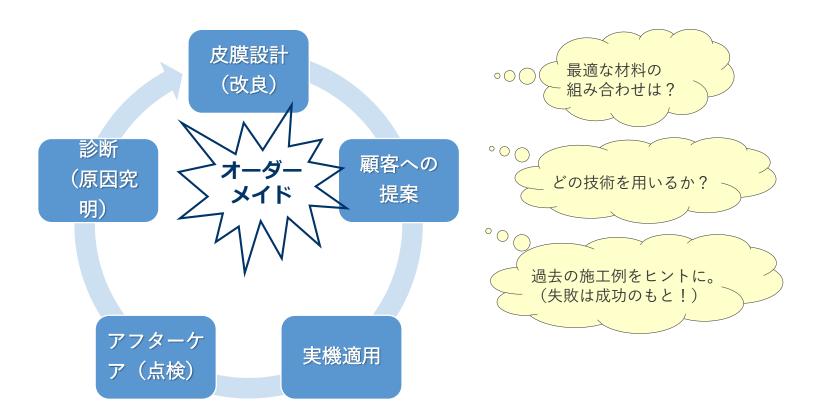




③ オーダーメイド



1000種類以上のコーティング材料、多様な表面改質技術、 そして豊富な施工実績に基づくオーダーメイド仕様。







4 研究開発



お客様の様々なニーズに応えるため、至るところで研究開発。 **先進的**な機能性皮膜を常に追い求めています。

産学官共同研究

公的研究機関

国内外の 主要大学



共同開発・ 特許の共同出願

全国の取引先

研究開発費は 連結売上高比 で3%を維持



No.1 & Only 1 技術・サービスの 創出で世界をリードします。





世界半導体の新工場



半導体生産工場は2022年までに世界64工場あり、 2023年には14工場が新しく稼働開始、更に80工場を建設計画へ。



出所: SEMI World Fab Forecast 3Q23 (Sept. 2023)を基に当社作成





2030年に向けた売上成長イメージ

2023年

467億円

外部環境

- 半導体市場は、2030年に向け て約2倍に拡大する
- 顧客(製造業)のニーズとして、 環境負荷低減や省エネなどへの 対応の重要性が高まる

成長戦略

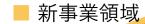
- 生産能力増強と自動化・省人化 のための積極的な設備投資
- 半導体の微細化・多層化への対応をはじめ、新事業領域の開拓に向けた次世代皮膜開発

※検討中のイメージ



売上成長イメージ (連結)

- 新事業領域
- ■環境・エネルギー分野
- ■半導体・FPD分野
- ■鉄鋼・産業機械等分野
- ■連結子会社



■環境・エネルギー分野

半導体·FPD分野

鉄鋼・産業機械等分野

連結子会社

2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030





2025/3期~2027/3期の主な設備投資(予測)

今後も市場の伸びが予測される半導体・FPD分野の拡大を主眼に置き、①新工場の建設、②先端設備の導入、③研究設備の導入の3本立ての設備投資を実行する

① 新工場の建設

神戸工場の新工場棟 (兵庫県神戸市)

13億円

半導体・医療分野などで、その他表面処理の適用拡大と生産効率化を図る 2024年5月着工、2025年3月竣工予定

鈴身事業所の新工場棟 (千葉県船橋市)

56億円

半導体製造装置メーカーからの受注増加を見据え、増産体制を整える 2024年8月着工、2026年4月竣工予定、設備導入や顧客認証を経て2027年初頭稼働

北九州工場の新工場棟 (福岡県京都郡)

32億円

半導体製造装置メーカーからの受注増加を見据え、増産体制を整える 2024年12月着工、2026年7月竣工予定、設備導入や顧客認証を経て2027年春頃稼働

② 先端設備の導入

自動化・省人化や高機能化 を企図した先端設備

12億円

自動化・省人化等を実現する先端設備の導入により、生産性向上と品質 管理の強化を図る

③ 研究設備の導入

次世代技術開発のための研究装置、測定・評価設備

10億円

半導体の微細化・多層化への対応をはじめ、新事業領域の開拓に向けた次世代皮膜開発のための研究設備等を導入する





グローバル展開のトピックス

【トーカロ】海外事業本部を新設

2024年4月に、グローバル展開を加速するため海外事業本部を新設しました。海外子会社・ビジネスパートナーとの連携強化、海外市場の開拓に一層注力します。

【中国】東賀隆(昆山)電子有限公司で新工場を立ち上げ

中国政府が進める半導体国産化を背景として、中国製造装置メーカからの受注増加が見込まれることから、新工場を急ピッチで立ち上げています。

【台湾】漢泰国際電子股份有限公司で新工場完成

台湾半導体メーカーTSMC社(世界最大手)の動向に合わせ、溶射リコートビジネスの 生産能力拡大を企図し建設していた新工場が完成しました。

【タイ】NEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.を完全子会社化、新工場建設

溶接事業のナイス株式会社(尼崎市)が51%、当社が49%を出資して2012年10月に設立したNEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.の全株式を取得しました。経営資源を溶射事業に集中するとともに新工場を建設し、業容の拡大を図ります。







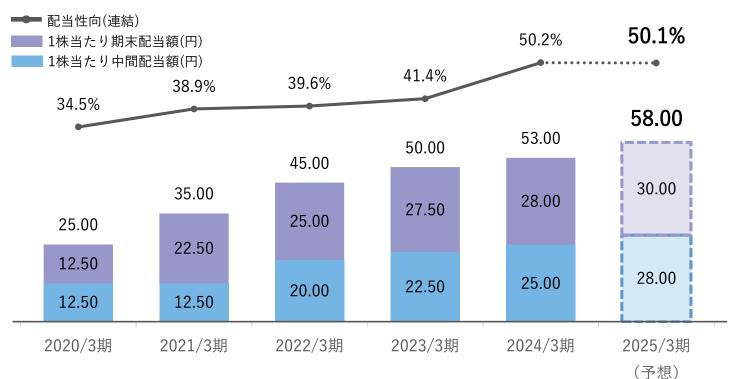
1株当たり配当額と配当性向の推移



2025年3月期の年間配当は58円(配当性向50.1%)を予定

株主還元方針

- 連結配当性向 50%程度および純資産配当率 (DOE) 5 %以上を目標とする
- 自己株式の取得も、事業環境や財務状況などを考慮しつつ機動的に実施











サステナビリティ/ESGの取り組み

取り組みテーマ



- 脱炭素化(カーボンニュートラル)に向けた取り組み
- 廃棄物削減および 環境保全への取り組み

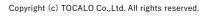


- 中長期的人財育成プランの策定働きやすい環境の整備
 - コーポレートガバナンスコード 対応の高度化
 - コンプライアンスの徹底 (企業倫理に則った行動)

これまでの主な成果

- 温室効果ガス排出の削減 (2025年度目標の「2013年度比 46%減」を単体ベースで達成)
- 廃棄物リサイクル率の向上
- 人財育成方針策定と目標設定
- グローバルチャレンジ制度新設
- ダイバーシティ推進室の新設、 各種制度の拡充
- 取締役会の多様性・実効性 (経営の監督と執行の分離)
- サステナビリティ委員会の新設
- 定期的なコンプライアンス研修







外部評価





多様な働き方を推進し、社員のエンゲージメントを高める企業

2023年6月 兵庫県初 くるみんプラス認定取得



2024年3月 健康経営優良法人認定取得 2024 **健康経営優良法人** Health and productivity



従業員のライフスタイルに柔軟に対応し、今後も企業価値を向上に努め、 持続可能な成長を実現します。



ミニ会社説明会の振り返り



- POINT
- 今日はこれだけは覚えて帰ってください
- トーカロはニッチトップ、国内溶射市場で**4割強のシェア**を占めています。
- 半導体市場の回復により、今期は過去最高の売上高となる見込み
- 今後の半導体市場の拡大による需要にこたえるために、国内外ともに 積極的な設備投資(64億円予定)を実施
- 連結配当性向 50%程度および純資産配当率(DOE) 5%以上を目標、2025年3月期の年間配当は 58円を予定

